



補正予算案

6月議会が9日から始まります

40億円を追加

週刊 市議会報告

日本共産党

2017年6月5日

第1416号

【発行】

日本共産党
浦安市議団

☎ & FAX
350-1243



市議会議員
元木美奈子

入船 4-37-14
☎ 355-8526
minamotonton@
jcom.home.ne.jp



市議会議員
美勢麻里

北栄 2-3-16-203
☎ 354-9269
m5mise@jcom.
home.ne.jp

先週2日、6月議会が告示され、平成29年度一般会計補正予算（第1号）など8本の議案と会計監査委員の選任が提案されました。6月議会招集日は9日です。

3月議会で議決した新年度当初予算は、前市長辞職により市長が代わることなどを理由に、経常的経費などを主とする骨格予算に止まるものでした。6月議会には新市長の下でこの骨格予算に4億2200万円が肉付けされた補正予算案が上程され、新市長の政策的意向や選挙公約を反映させた新規事業の他、拡充事業などが盛り込まれています。

主な新規事業を 紹介します

指定管理者制度について

今後の方向性、課題などを検証

PFI手法について

今後の展望や課題などについて調査・検討を行う

自治会集会所新築事業

ラ・フィネス新浦安とパークシテイ東京ベイ新浦安SOL合同自治会集会所を新築する

障害福祉サービス従事者の確保

住宅手当を支給する事業者に経費の一部を補助

七区第二熟年クラブ会館建設事業

弁天喜楽会館建替え事業

入船保育園大規模改修事業

高洲北小学校地区児童育成クラブの

分室整備事業

産婦健康診査

産後うつへの予防や新生児への虐待予防のため健康診査を行う

三番瀬環境観察施設整備事業

旧護岸の在り方を調査検討

液状化対策事業

◎ 幹線2号（堀江橋からデイズニールランド駐車場前交差点まで）

◎ 幹線7号（デイズニールランド駐車場前交差点から舞浜駅ロータリ入口交差点まで）

◎ 元町地域の緊急輸送路の液状化対策の必要性について調査・検討を行う

◎ 元町地区の北部小学校・堀江中学校の液状化対策の必要性を調査・検討する

道路環境整備事業

◎ 舞浜駅南口バスターミナルのバス乗り場を拡充するために、市有地を利用するための実施設計を行う

◎ 無電柱化事業
主要な道路について無電柱化に向けた検討を行う

サイン計画調査検討経費

鉄道駅周辺や公共施設などの誘導板・案内板等の設置状況を調査する

公園整備について

◎ 堀江旭第2児童公園の用地取得
◎ 舞浜公園の再整備に向けて現況測量などを行う

しおかぜ緑道改修事業

美浜北小学校・見明川中学校の

大規模改修事業

浦安小学校屋内運動場改修事業

中央図書館大規模改修事業

各小学校外壁改修事業

運動公園スポーツ施設機能検証事業

施設の在り方・問題点を整理するための検証

就学援助

補正予算歳出の性質別内訳は、物件費が約3億8000万円、補助費が約2億8000万円、投資的経費が約32億円。
財源は国庫支出金のほか、財政調整基金が約20億円、約18億円の市債発行などで賄います。

以上のような結果、平成29年度当初予算



入学前支給 額引き上げが実現

入学準備金

6月議会の補正予算案に就学援助費について小学生397万円、中学生633万円が増額計上されるとともに、平成30年度の新入学1年生に支給する「入学準備金」を入学前の1月末に支給する改善措置が示されました。

共産党の要求実現

就学援助制度は、経済的な理由により児童・生徒に義務教育を受けさせることが困難な世帯に対して必要な経費を援助する制度で、平成27年度は823名の小中学生が受給しています。給食費や修学旅行費、学用品費、卒業アルバム費などとともに新入生には入学準備金が支給されますが、入学後の6月に支給されてきました。

特に入学時には制服やカバン、体操服などに多額の費用を用意しなければならず、「入学準備金」については単価の引き上げとともに、入学準備に間に合うよう支給時期を早めてほしいという保護者の声が上がっていました。

日本共産党の3月議会一般質問の答弁の中で、教育総務部長は他市の調査を約束していました。

における市債発行額は約28億円でしたが、補正後の市債発行額は約47億円となり、29年度末の地方債残高は258億円を見込んでいます。

また、市の貯金にあたる財政調整基金は平成29年度末見込み額は114億となります。

病児保育が実現！

6月議会の補正予算案には病児・病後児保育を順天堂大学附属病院内（定員6名）で行うための増額予算460万8千円が計上されました。

順天堂大学 附属病院内に

浦安市の場合、病児回復期の子どもの保育は、市内2か所（浦安中央病院・パンダルーム）（新浦安駅マレー・保育園ポピンズナーサリー）で行われていますが、まだ回復期に至っていない病児の保育は実施されていません。

平成17年9月議会には市民から出された「病児保育所整備を求める陳情」が採択されています。この陳情採択から10年余が経過し、やっと実現することになります。

病気で回復期に至っていない子どもを預けて働くことについて批判的意見もありますが、働く女性にとって子どもの体調が回復していても子どもを預けて出勤せざるを得ない現実があります。女性が子育てしながら働くことをもつとも辛くて困難な状況にさせるのが子どもの病気です。

千葉市内の病院内に設置された病児保育所は、女性医師が自らの辛い経験から「具合の悪い子どもを抱いて、泣きたくなるような思いで保育の手立てを考えなければならぬお母さんたちのお役に少しでも立てれば」と設置したものです。このような視察をもとに日本共産党は、病後児保育所の増設とともに、病児保育所の設置を市に度々求めてきました。